病院と地域を結ぶ情報誌　肝属郡医師会立病院

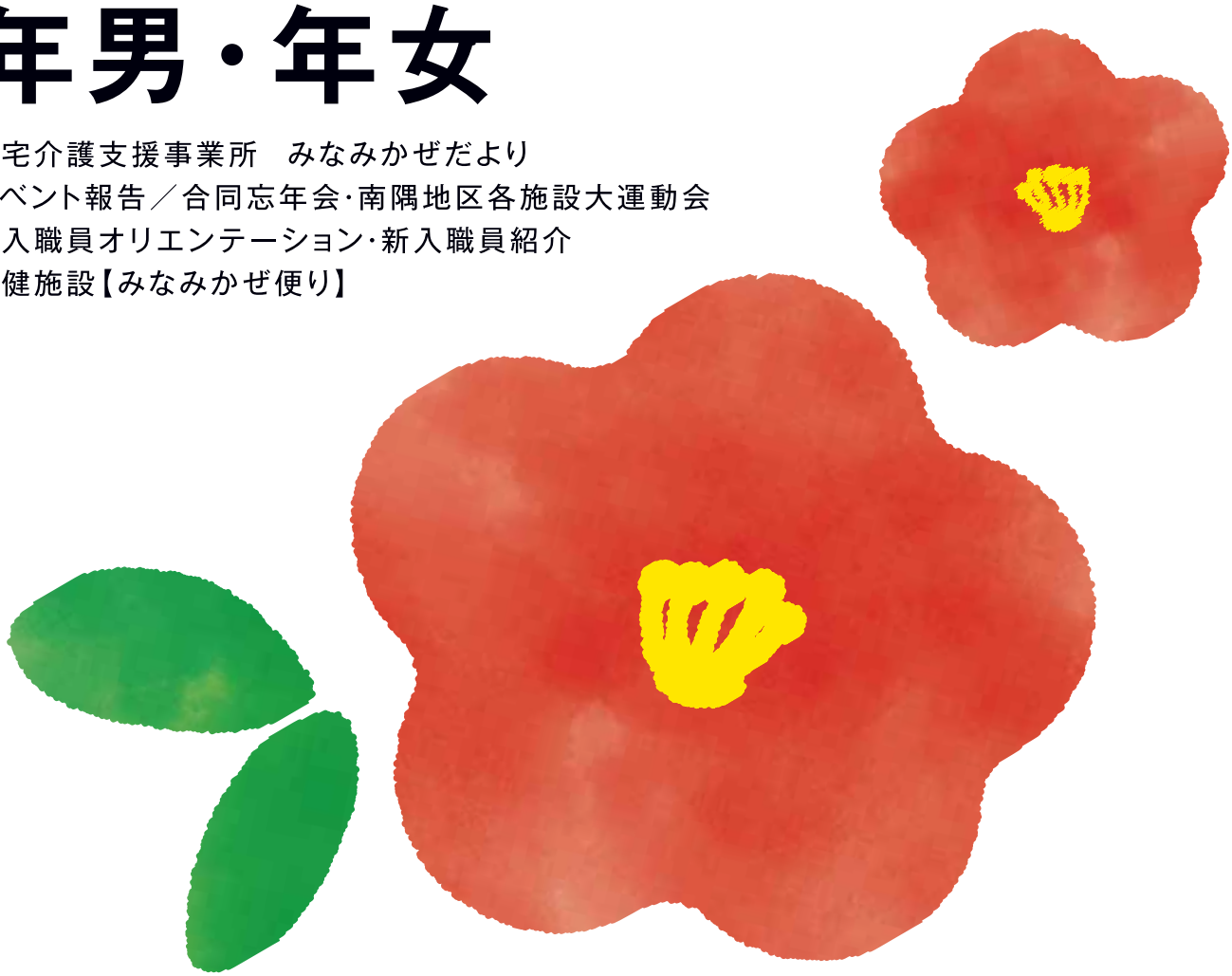
みどりの風

2016
冬号
2016年75号

CONTENTS

新年のご挨拶
年男・年女

居宅介護支援事業所　みなみかぜだより
イベント報告／合同忘年会・南隅地区各施設大運動会
新入職員オリエンテーション・新入職員紹介
老健施設【みなみかぜ便り】



病院理念

地域住民の健康管理のために
地域医療の質と医療人の質のたゆまぬ向上を目指す。

基本方針

1. 安全な医療の提供と地域連携により
   地域医療の充実に努めます。
2. 更なる知識と技術の習得に努め
   信頼される医療人を目指します。
3. 多職種協働によるチーム医療と
   組織横断的活動を推進します。

患者さまの権利と責任

1. 患者さまは、自身の生命、身体、人格を尊重され、
   適切な医療を受ける権利を有します。
2. 患者さまは、病気や治療などに関する一切の事について、
   プライバシーを保護される権利を有します。
3. 患者さまは、自身の病気について十分な説明を受け、
   治療に際して自ら選択、決定、或いは拒否する権利を有します。
4. 患者さまは、医療従事者と力を合わせて
   医療に参加していく責任があります。
5. 患者さまは、他の来院者の権利を尊重する責任があります。

新年のごあいさつ

肝属郡医師会立病院
院長　濵畑　和人

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

27年4月より前院長落司孝一先生の後任として、私、濵畑が就任しております。医師会立病院ということで、開業医（A会員）が院外院長という形態をとっております。違和感や、不安を持たれる方が多いと思いますが、院内の日常的な運営管理は、二人の副院長が行っており、私は、診療などの院内活動は行いません。病院の方向性を決める様な重大な決定は、当然副院長と連携するわけですが、責任は自分にあります。二人三脚の様な状態ですので、なるべく早い時期に、常勤の院内院長をお願いできる様にしたいと思います。

数年来、医師不足の状況が持続しており、病院運営に苦慮しております。27年は、2月に外科医師1名、4月に内科医師1名に入職して頂き、最低限必要な常勤医師8名体制をなんとか確保出来ております。今後も継続した医師招聘活動が必要です。

来年度は、診療報酬改定があります。基本方針の中で、超高齢化社会における医療政策の基本方向の一つとして、住み慣れた地域で安心して生活を継続出来る様にすることや、地域包括ケアシステムと効果的・効率的な医療提供体制の構築等があります。当院で進行中の在宅医療連携拠点事業、認知症初期集中支援事業、多職種連携はこの方針に沿ったものであり、今後も発展する様に計画し、収支においても細かく分析して、病院財政基盤を強くしながら、この方針に沿う予算編成をする必要が有ります。

今年も医師会会員の先生方を中核とした地域の医師会立病院として、安心で納得のできる医療を提供出来る様に頑張りたいと思います。

本年もよろしくお願いいたします。

年男・年女

12年に1度！ 申年の職員にインタビューしました！

看護補助者　鎌田 美佐代

申年、年女、そして還暦を迎えます。孫に「ばあちゃん」と呼ばれて、しぶしぶ60歳を実感しています。最近、ささやかな楽しみを見つけました。時々、同級生とドライブをしたり、食事をする事、あの頃のように気さくに話せることがとても心地よいのです。11月、還暦同窓会の予定です。赤い物を身に付けるのは厄払いの意味もあるようです。40数年ぶりの再会にアルバムを眺めながら、楽しみがふくらんでいます。

事務　中垣内 千富美

もう何回目の年女になるのかあえて数えたりはしないけど、そういう年齢になったというのは…少し忘れたい気もしないわけでもない。体力・気力が若いころとは違うなと誰しも感じることではないでしょうか。さらに、記憶力というのも…寂しいかな、衰えていってるような…。自分の記憶力ってこれくらいなんだよねと解っているけど、あれ?そういうことがあったよね?たぶん。と頭の中に(?)が浮かぶこともあります。今年は今の環境に満足せずいろいろなことを身につけつつ、削除されることがないよう努力していくことを目標にして、元気に過ごせたらと思います。

看護師　篠原 恵津子

60歳、人生節目の年。

実際は誕生日がまだ先なので実感が湧かないところである。しかし、身体はそれなりに変化しているのがわかる。この後どこまで動けるのか自分への挑戦をしながら、先輩たちを見習い、常に目標を持って過ごしてみたい。そして、いつまでもシャキッとした姿勢と柔軟な身体を保つ為に趣味の太極拳を極めたい。

作業療法士　山下 大貴

当院は私が社会人になって初めての職場です。作業療法士としても1年目を勤め、当院での日々には学ぶことが多々あります。「チーム医療の大切さ」「患者さまへの責任」「自己意識」と今まで見えているようで、見えていなかった考え方や視点が私の仕事にはある事に気付かされました。私の人生で得たことをすべて活用し、1つでも多くの患者さまの手助けができるよう励んでいきます。

看護師　岩淵 さとみ

自分が48才になった時なんて、若いころは想像も出来なかったのに年月だけは皆平等に訪れるのだと実感します。

今年はどこでも良いので、家族旅行が出来るよう今、コツコツ小銭を貯めているところです。子供たちも親元から巣立つ時が近づいてきているのでそれが実現できるように願うささやかな私の今年の夢です。

診療情報システム管理　平 和義

あけましておめでとうございます。4回目の年男という事で、今年は健康について考えたいと思います。昨年は「口から食物を摂取する大切さ」を学ばせて頂く機会がありました。私は歯の治療が得意ではなく、長らく治療をお休みしておりましたが、それらを再開させ完治できるよう、努力したいと思います。また昨年末に35歳になったという事で、人間ドックの対象となりました。体の状態を毎年定期的にチェックすることで、病気の早期発見・早期治療につなげていければと思います。当院におきましても、健診事業を行っております。「痛い」「苦しい」などの症状が無ければ、なかなか病院に足を運ぶ機会がないと思いますが、健康を維持するために、定期的な健診をしてみてはいかがでしょうか?全身健康維持を目標に、仕事やプライベートを頑張りたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

イベント報告

合同忘年会

年末の運試し?!　好評の抽選会

12月18日、毎年恒例の肝属郡医師会・南隅地区医師会施設合同忘年会が盛大に開催されました。夜遅くまで余興の練習に励んだ成果が存分に発揮され、記憶に残る催しとなりました。来賓の方々、準備に携ったスタッフの方々、ありがとうございました。次回はもっと笑顔が増えるといいですね。

【余興順位】

優勝 検査・放射線・地域医療室
2位 リハビリ室　**3位** 2階病棟

余興も大盛況

みなさん一生懸命です!

平成27年度 南隅地区各施設大運動会

11月22日(日)南隅地区各施設大運動会が開催され、病院・みなみかぜの職員と家族、行政・各関係施設合わせて146名の方にご参加頂きました。

今年は新種目「大玉ころがし」など、子供さんを中心にした種目を3つ設けました。一生懸命競技に没頭する姿がとてもかわいらしく、それをにこにこしながら写真におさめようとする親御さんがとても印象的でした。大熱戦の末、今年は僅差で赤組が勝ち、特に終盤は大変な盛り上がりを見せました。

ご参加頂きました各関係施設・ご家族の方、誠にありがとうございました。大きなケガもなく無事に終了でき、ご協力頂きましたことを厚く御礼申し上げます。

新入職員 オリエンテーション

11月13日（金）、平成27年度下期の新入職員オリエンテーションが行われ、6名の新入職員が受講しました。

病院理念から基本方針、患者さまの権利と責任、行動規範に至るまで約8時間、みっちりと受講して頂きました。後日消火訓練も行われ、消火活動や日頃からの防災意識を持って頂くよう指導がありました。

『新入職員オリエンテーションを受けて』

地域医療室（人間ドック担当）　平原 寿子

入職して4ヶ月が過ぎました。オリエンテーションを受け、日々の行動を振り返る良い機会となりました。感染対策について、手洗いを実際に体験してみました。普段通りに手洗いをした後、洗い残しのチェックをし、再度意識しながら手洗いを行いましたが、やはり同じ場所が洗い残されており、そこは何回やっても洗い残す部分であると指導されました。今後は、そのことを意識し手洗いすることが大事であると感じました。また、色々な感染症がある中で、自分が媒体にならないようにしっかりその感染にあった対策を行い、蔓延しないよう仕事や家庭でも従事しなければならないと感じました。その為にも、日頃の業務を見直していきたいと思います。

医療安全についても、ドック室では日々健診を受けられる方が違いますが、年1回の健診を短い時間の中で、検査がスムーズに行われるよう、他の検査室とも連携を行い、忙しい中でも自分の行動一つ一つを見直し、安心・安全の業務を遂行することが大事だと感じました。

個人情報保護においては、事例を見ながらの学習でしたが、どの症例も自分達が業務を行うなかでよく遭遇するものであると感じました。それだけに、安易な気持ちで対応することがないように、情報の取り扱いには十分注意しなければならないと再認識しました。

（一部割愛あり）

老健施設【みなみかぜ便り】

第17回 施設内研究発表会

10月9日（金）に第17回施設内研究発表会が行われました。今回は、10グループが「利用者様により良いサービスの提供」をする為にそれぞれの課題を設け一生懸命取り組んできました。

感染症拡大防止の為のマニュアル改定や日常生活を楽しく有意義に過ごして頂く為のレクリエーションの検討等課題は違っていてもいずれのグループも【質の高いサービス】を目指して取り組み、その結果や対策を発表しました。

発表後は活発な意見交換も行い、日頃の業務を見直す良い機会となりました。今回の取り組みをこれからも継続していき、今後のスキルアップにつなげていきたいと思います。

たくさんの職員が参加しました

スライドを使用したわかりやすい発表

第17回 みなみかぜ大運動会

10月31日（土）に第17回みなみかぜ大運動会を開催致しました。利用者様、職員が共に紅白に分かれ、競技や応援合戦に一生懸命取り組みました。ご家族の皆様等の応援もあり、例年にも増して盛り上っていたように思います。

開会式で代表の利用者様に国旗掲揚や選手宣誓をして頂き、全員でラジオ体操を行った後、いよいよ競技が始まりました。玉入れ、ボール渡しは利用者様全員参加で行い、普段は見られない表情や素早い動きも見られ、勝負にかける熱意を感じました。

また、今年も根占保育園の園児の皆さんがマーチングバンドを披露して下さり、ぴったりと息の合った可愛らしい演奏を利用者様も笑顔で楽しまれていました。

そして、毎年恒例のみなみかぜ職員による応援合戦では、終業後に一生懸命練習した成果が現れ、より一層の盛り上がりを見せました。

最後に閉会式を執り行い、今年の運動会も無事に終える事ができました。たくさんの方々のご協力のお陰で皆様に喜んで頂ける楽しい運動会になったと思います。本当にありがとうございました。

職員による応援合戦も盛り上がりました!

みんなで力を合わせた玉入れ

根占保育園のみなさんのマーチングバンド